

「社会保障の解体は許さない！憲法まもりいかず社会をつくろう！！」
STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース
-介護の“Big Wave”を広げよう！-



1. 27介護ウェーブ国会行動 57名で84訪問！

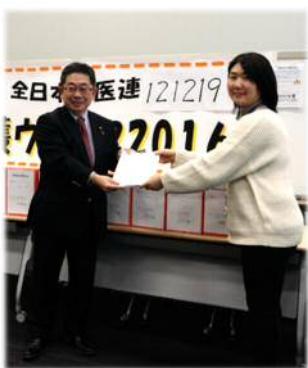
「介護離職ゼロ」って言うなら、「介護職員離職ゼロ」でしょ？ 安倍総理！

1月27日（水）、15県連から57名の参加で、介護ウェーブ国会行動を行いました。訪問した議員は84件、議員本人との対話は7、秘書・事務の方との対話は72、不在で郵便への投函は5でした。

山田智副会長から「これからも負けない取り組みをしていこう！」とあいさつをいただいた後、林事務局次長で「介護をめぐる情勢」についての学習を行いました。（資料は全日本民医連HPに掲載しております。）

学習後、県ごとのチームに分かれ、夏には参議院選も予定されているということで、**地元の議員を中心に国会議員要請行動**を行いました。

午後は小池晃議員（日本共産党）が来てくれ、国会情勢報告と署名121219筆（1月25日現在）の受け取りをしてくれました。数日前の国会での消費税の軽減税率に関する政府答弁のためめについて、お話をさせていただきました。「国は消費税が10%になると、1世帯あたりの負担増は35000円と思っていたが、実際は62000円。根拠としていた家計調査は消費支出の6割しか把握しておらず、正確でなかったと訂正した。軽減税率導入と言いつながら、27000円もアップする。社会保障費は毎年の8000億円から1兆円の自然増を5000億円におさえこもうとしている。安倍首相は小泉内閣もやらなかった消費税率アップと社会保障費削減の同時改悪をやろうとしている。人間の尊厳、ひとりひとりの暮らしを踏みにじっている。改悪の具体化を許さないたたかいと一緒にやっていきましょう！」。



要請行動まとめの会から



紹介議員は7名、検討してくれる議員は10名。

北海道の渡辺さん、「紙智子議員（日本共産党）に会えた。結婚したので子どもが欲しいが、介護現場は低賃金なのでたいへんであることなどを訴えた。切実に受けとめてくれた」

宮城の加藤さん、「郡和子議員（民主党）に会えた。介護の実態を訴えると「共に頑張りましょう」と言わされたが、署名の紹介議員を引き受けることについては、明言されなかった。今回、

宮城では、いろんな人に署名を集めていたく取り組みをした。短期間にこんなに集まったのは初めて！」





茨城の木村さん、「小西洋之議員（民主党）は秘書の方が非常に興味深く話を聞いてくれ、**民医連の活動内容にも賛同してくれた**。反対に長沢広明議員（公明党）の秘書は、とりつく島もない対応だった」



千葉の泉水さん、「丹羽雄哉議員（自民党）の秘書の方は親族が介護施設で働いているということで、話に賛同してくれ、**介護現場の改善にも協力したいと話してくれた**。」

神奈川の岡さん、「ポストに投函してください、という対応もあってすごく残念だった。」

現在、現場では今まで通っていたテイサービスが潰れてしまつて新しいところを探している利用者さんがいる。知り合いが出来、**信頼関係のあったところにいられなくなってしまうのは利用者さんにとって辛いこと**だと思う。今の介護保険制度は、一人一人の思いに寄り添っていない制度だと思う」



石川の田中さん、「北陸は保守王国なので**自民党ばかり10名まわってきた**。養成校の定員充足が半分しかないなど、介護の扱い手がない状況を訴えたが、しっかり話を聞いてくれた。**今回3回目の議員要請行動だが充実感！**山田副会長も一緒にまわってもらえてとても心強かったです」

福井の山田さん、「学习や小池議員の話で、今の安倍政治が私たちの暮らしを破壊していることがよく分かった。**職場に戻ったら、今回の経験をきちんと伝えたい**」



長野の西澤さん、「藤野保史議員（日本共産党）は、介護を取り巻く現状をしっかり聞いてください、これからぜひ、つながりを持ちたいとうれしい言葉をいただいた。**運動していくことで、今後的情勢を変えていけるのではないか**と感じた」

山梨の津布久さん、「**山梨では、戦争法廃止の取り組みを市民連合で民主党とも一緒に活動している**ので、民主党の中嶋克仁議員、輿石東議員は署名に好意的であった。検討することなので、後で確認したい」



京都の浦さん、「日本共産党の堀内照文議員、本村伸子議員が紹介議員になってくれた。堀内議員は、**介護の問題を国会で取りあげていきたい**、と言ってくれた」

京都の木村さん、「緊張してしまった。次回はこの雰囲気に飲まれないように作戦を立てて望みたい！職場に人が入ってこないことを伝えたかった！」



京都の香山さん、「もっときちんとしゃべれたらと思った」

兵庫の西堂さん、「議員さんも介護の問題を知らない人が多く、世論をもっと盛り上げないとどんどん後退してしまうのじやないかと危機感を感じた」



奈良の百上さん、「2月にはみんなを連れて来たい。介護は全国民的課題。**政府の考えを変えていかないと介護殺人や心中はなくならない！**」

大阪の今田さん、「横柄な態度をとられるかと緊張していたが、辻本清美議員（民主党）は一緒にがんばりましょう、と言ってくれた。清水ただし議員（日本共産党）は、お茶も出してくれた。**こういう場で、現場の意見を言えるのはとても貴重だ**と思った。最後に議員との写真サービスもあった。署名は、医療生協かわち野だけで4300筆集めた！」



福岡の古賀さん、「福岡は、署名目標を1万筆としてがんばっている。これをやりきるためにも、**2月にも宣伝を行う**」



たたみかけるように「2.24 介護ウェーブ国会行動」を行います！

2月24日（水）10:30～16:00 衆議院第1議員会館多目的ホールです。

通達第ア-812号（1月28日付）をご参照ください。

次回の国会行動に向けて準備しましょう！

★事前に訪問する議員にアポイントメントをとりましょう！

★県連や法人、事業所でまとめた介護現場の声、調査などがあれば持参しましょう。

★「このことを話すぞ！」という話のポイントをまとめておきましょう！

★どこから来たのかが分かりやすいように、事業所のパンフレットや名刺を持ってきましょう！

★以前に国会行動に参加したことのある人から話を聞いておきましょう！参考になります。

★忙しくても、意見が違っても、国民の要望を聞くのが国会議員（秘書）の仕事です。堂々と切り込みましょう！



初めて国会行動に参加する職員は、とても不安です。国会行動に参加したこのある方は、どんな様子なのかぜひ、お話ししてあげてください！



署名は129047筆！(2/1現在)

お手元にある署名は、至急、全日本民医連事務局までお送り下さい。

感想文から



・印象としては、まだまだ現場の大変さや介護の実態は知られていないと感じました。しっかりと事実を伝える必要があり、運動していくことで今後的情勢を変えていかなければいけないかと感じました。

・現場の実態や利用者さんの声を代弁できる機会になればと思ってきました。議員は、署名の数の多さに驚かれる様子もあり、直接声を届けることで、一筆の重みを感じました。

・同じ志をもって働いている方が、業務の厳しさ、理想と現実のギャップ、賃金の安さ等を理由に現場を多く離れています。運動への参加を行い、現場の声を届けていきたいと思いました。

・現場で働く介護職は、疲れ切ってしまい、現場に目が届いていないのが現状だと思います。私たちの介護職部会では、介護職はどうすれば現状が自分たちに関係のあるものだとどうえて介護ウェーブに参加してもらえるかを工夫しています。地元で小さい波をコツコツと起こしていくかと思います。そしてそれが大きな介護ウェーブの波になりますように…。

・小池議員の「12万の署名はとても大きな力になる」との言葉はグッときた。

・今日は自ら行動することができた。権利なので、もっと堂々と話をすればよかったと反省した。さすがの小池節を生で聞く事ができ、嬉しかった。また、あずみの里の事故に対しての支援の呼びかけを全国の方にできたことはよかった。支援の輪が全国に広がってくれればと思う。

・仕事で忙しく、情勢についてもゆっくり考えたり学習したりする機会がとれなかったので、有意義な時間でした。

介護ウェーブ国会行動の資料は、全日本民医連HPに掲載しています。

全日本民医連 > 介護ウェーブ ↓

http://www.min-iren.gr.jp/kaigo_wave/



県連名	2/1現在
北海道	2695
青森	2809
岩手	1681
宮城	2776
秋田	
山形	7751
福島	3154
茨城	890
栃木	
群馬	3685
埼玉	3236
千葉	2245
東京	9817
神奈川	6507
新潟	133
富山	1644
石川	2102
福井	
山梨	2861
長野	3242
岐阜	2985
静岡	24
愛知	4099
三重	496
滋賀	217
京都	6429
大阪	13050
兵庫	6419
奈良	849
和歌山	
鳥取	1761
島根	1653
岡山	4796
広島	895
山口	767
徳島	1307
香川	1908
愛媛	5127
高知	3050
福岡・佐賀	8838
長崎	2191
熊本	1375
大分	193
宮崎	
鹿児島	2087
沖縄	1303

お問い合わせは、
「介護ウェーブ推進本部」
事務局：吉澤・諏佐（すさ）
☎03-5842-6451/
fax03-5842-6460
E-mail：
min-kaigo@min-iren.gr.jp